

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	膵切除術後における膵周囲感染に起因した術後膵液瘻発生機序の解明			
2. 対象患者	2012年5月から2017年3月までの期間に、弘前大学医学部附属病院において膵切除術(膵頭十二指腸切除術, 膵体尾部切除術)を施行した患者さんが対象です。			
3. 対象となる期間	倫理委員会承認日から平成29年3月31日まで			
4. 実施診療科等	医学部附属病院消化器外科、大学院医学研究科消化器外科学講座			
5. 研究責任者	氏名	木村 憲央	所属	医学部附属病院小児外科
6. 研究の意義	長年、膵切除術後の合併症として外科医の頭を悩ませている術後合併症が膵液瘻です。難治性になると腹腔内膿瘍、胃内容排泄遅延、腹腔内出血などの二次的合併症へ移行し、在院日数の延長や時に致死的な経過を辿ることもあります。一般に膵切除術では術中に膵周囲ドレーンを留置しますが、術後短期間で膵周囲ドレーン排液に感染を合併すると、難治性膵液瘻孔に移行しやすくなります。しかしながら、膵周囲感染予防に有効な抗菌薬の種類は明らかにされていません。また、ドレーン長期留置に伴う逆行性感染の予防も重要ですが、具体的に何日間以上の留置が逆行性感染のリスクであるかについては一定の見解が得られていません。本研究は膵周囲感染予防に有効な抗菌薬とドレーン至適抜去時期を明らかにすることで、膵切除術後難治性膵液瘻の予防対策確立に寄与します。			
7. 研究の目的	膵切除後の膵周囲感染予防に有効な抗菌薬を同定し、ドレーン至適抜去時期を決定します。			
8. 研究の方法 (使用する資料等)	過去の診療データ(既存情報)を使用する研究であり、患者さんに新たな負担や費用が生じることはありません。既存情報は診療録を利用して収集し、病歴、年齢、性別、身長、体重、血液検査所見などの術前情報、術前に投与されていた予防的もしくは治療的抗菌薬、手術術式、合併切除臓器などの手術関連情報、膵周囲ドレーン排液のアミラーゼ値ならびに培養検査結果、合併症、経過などの術後情報を使用します。			
9. 個人情報の保護	対象者のプライバシーに十分配慮し、情報の漏洩防止に努めます。調査結果については研究目的以外に使用することはありません。データは弘前大学医学部附属病院消化器外科ならびに大学院医学研究科消化器外科学講座内でのみ管理し、対象者の個人情報は外部に漏らすことはありません。研究内容と連絡先を当科ホームページに公開し、対象者の参加撤回の自由を確保します。			
10. 利益相反に関する状況	本研究における利益相反はありません。			
11. 問い合わせ先	〒036-8562 弘前市在府町5 弘前大学医学部附属病院 小児外科 木村 憲央 メールアドレス: norihisa@hirosaki-u.ac.jp			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080

提出先

医学部附属病院 総務課

総務グループ 総務・広報担当

E-mail : jm6453@hirosaki-u.ac.jp